

CPT-11+Panitumumab療法					
		Day			
薬剤名	用法用量	1	8	14	
ベクティビックス (Panitumumab)	6mg/kg 点滴静注(初回60) ※1	↓			
イリノテカン (CPT-11)	150mg/m ² 点滴静注 (2時間)	↓			

※ 1 2回目以降は30分でも可能

【制吐対策】

- | |
|--------------------------------------------------|
| ① 5-HT受容体拮抗薬 (Day1) |
| ② デキサメタゾン静注9.9mg 1V (Day1) デキサメタゾン経口8mg (Day2~3) |

【基本事項】

EGFR陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん ※KRAS野生型のみ

【レジメンポイント】

- ①前投薬の確認、イリノテカンは催吐性リスク中程度、デキサメタゾンは必要時
- ②白血球数3000mg/mm³未満、好中球が1500mg/mm³未満または血小板数が10万/mm³の場合は投与を中止または延期

【併用注意薬】

イリノテカンはCYP3A4で代謝されるため併用薬注意、グレープフルーツも

【主な副作用】

下痢、骨髄抑制、脱毛、Infusion reaction、皮膚症状、爪巣炎、低Mg血症